

事務連絡
平成26年6月23日

各都道府県水道行政担当部（局）
各厚生労働大臣認可水道事業者
各厚生労働大臣認可水道用水供給事業者 御中

厚生労働省健康局水道課

広島県東広島市で発生した水道施設への侵入事件について（情報提供）

水道行政の推進につきまして、平素よりご尽力及びご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本件事案は、平成26年6月16日に、東広島市水道局が所管する配水池、計10か所の水道施設において、鍵の破壊や部材の盗難等の被害が確認されたものです。東広島市水道局からの報告によれば、その詳細は別紙のとおりであり、本件事案による水道水への影響は確認されていません。

本件事案は、水道法第2条第1項に定められる、国及び地方公共団体の責務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるものであり、各水道事業者等におかれましては、これまでに水道課から発出している「国内でのテロ事件発生に係る対応について」（平成15年12月15日付け健康局長通知）における対応及び「水道の危機管理対策指針策定調査報告書」（平成19年2月）による危機管理マニュアル策定指針等につき、あらためて留意していただくとともに、水道施設の警備体制の強化、委託先からの情報も含めた迅速な情報収集の体制の確立、職員教育及び被害発生の抑制（監視カメラや感知センサー等の設置、自動水質監視機器の設置、浄水施設の覆蓋、適切な施錠等）等の予防対策により、引き続き水道施設の防護対策を徹底していただきますようお願いいたします。

また、各都道府県水道行政担当部（局）におかれましては、貴管下の水道事業者等に対して周知をお願いいたします。

広島県東広島市における水道施設への侵入事件について

現時点において、把握していることは以下のとおりであるが、侵入者が不明であることなどから、引き続き調査をしていくこととする。

1 事件の概要

平成 26 年 6 月 13 日午前 10 時頃、東広島市水道局が所管する「失平配水池」において門扉に使っていた南京錠がなくなっていることを発見するとともに、同 16 日 11 時頃、「テクノタウン東広島配水池」において、入口の門の施錠部が破壊され、何者かが侵入し配水池上部に上るための螺旋階段踏板等が盗まれていることが判明した。これらを受け、市内の水道施設を緊急で巡回点検したところ、次の表のとおり複数の箇所での被害が確認された。

施設名	所在地	被害状況
テクノタウン東広島配水池	東広島市西条町	門扉施錠部の破壊 南京錠行方不明 螺旋階段踏板 21 枚盗難 (SUS) 螺旋階段の門扉盗難
八本松配水池	東広島市八本松町	門扉施錠部の破壊 螺旋階段踏板 9 枚盗難 (SUS) グレーチング 4 枚盗難
志和配水池	東広島市志和町	門扉施錠部の破壊 螺旋階段の門扉盗難
造賀配水池	東広島市高屋町	門扉施錠部の破壊 階段の手摺盗難 (SUS) 流量計ピットの蓋の南京錠破壊 ピット蓋の破壊
檜原配水池	東広島市黒瀬町	門扉施錠部の破壊 南京錠行方不明
津江配水池	東広島市黒瀬町	門扉施錠部の破壊 南京錠行方不明 螺旋階段踏板 12 枚盗難 (SUS)
小多田第 2 受水槽	東広島市黒瀬町	螺旋階段踏板 10 枚盗難 (SUS)
高屋低区配水池	東広島市高屋町	門扉施錠部の破壊 南京錠行方不明 緊急遮断弁室の蓋 2 枚盗難 (SUS) 螺旋階段の門扉盗難 つかみ金具盗難
西条中央配水池	東広島市西条町	門扉施錠部の破壊
失平配水池	東広島市河内町	南京錠行方不明

2 事件発覚後の初動対応

6月13日

- 10:00 失平配水池の門扉に使っていた南京錠がなくなっていることを発見。配水池、場内を調査するが異常なし。
- 15:00 チェーン及び新たな南京錠により、門扉の二重施錠の措置を実施

6月16日

- 11:00 水道局職員がテクノタウン東広島配水池の門扉施錠部が破壊され、螺旋階段の踏板及び門扉がなくなっていることを発見し、警察に通報
配水池上部（点検口等）に異常がないことを確認
- 12:00 委託機関へ水質検査依頼
- 13:00 水道局職員で52か所の全配水池点検を実施
順次、他の9施設で異常を確認。1施設以外は配水池上部（点検口等）に異常がないことを確認。異常のあった施設は配水池上部の点検口付近のつかみ金具及び南京錠が1個なくなっていたが、点検口が開けられた形跡はなし
異常のあった施設のうち、施設内への侵入がある8施設において水質検査を実施

6月17日

- 8:30 水道局職員で67か所の配水池以外の施設点検を実施
- 9:00 配水池上部に異常のあった施設を給水停止（2槽式のため断水なし）
全項目水質試験を実施

3 従前の維持管理方法

- ・配水池については、月1回～3か月に1回以上実施
- ・第三者侵入防止のため、敷地廻りにフェンス及び忍び返しを設置
- ・門扉を南京錠のみで施錠
- ・重要施設には、建物の扉に侵入通報装置を設置

4 事件が発生した要因

- ・普段、人や車の通行等がない場所に施設がある。
- ・施設内にボルトで固定された高価な材質の部品（ステンレス）が豊富にあった。

5 今後の対策

- ・すべての南京錠をフック部分がステンレス製の切断されにくいタイプに変更
- ・門扉のチェーン及び南京錠による二重施錠
- ・点検頻度の増
- ・敷地内への車両の進入を防止するための車止め（ポール）等の設置